

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.150

2014年2月14日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

「毎日の生活とけんこう」

保健・体育部会授業研究会

保健・体育部会が、明石市の小学校において3年生の保健の授業を参観しました。

換気の必要性を理解することを通して、「生活環境を整えるため自分たちにできることは何か」について考えました。教室に落ちているほこりを観察するために顕微鏡を使ってモニターに写したり、目には見えにくい空気中の細かなちりに気づくようにクリーンルームライトを使ったりしました。また、教員自作の模型と線香の煙を使って、換気によってできる空気の流れを確認するなど、教科書を中心とした講義形式ではなく授業者が教材を工夫して提示する姿が多く見られました。



授業後の研究協議において、授業者からは、『子どもと教育 143』に保健・体育部会が特集した～「知識の習得と活用」を生かした保健学習をめざして～と関わって、ICT機器の活用やグループでの話し合いを多く取り入れるとともに、授業づくりの段階から養護教諭との連携をはかり、多くの助言や情報の提供を受け、その結果、企業からクリーンルームライトの無料貸与を受けることができたという報告がありました。また、保健学習を実生活に結びつけ、学校で力を入れている清掃活動につながるような学習を構成したとの意見が出されました。しかし、空気清浄機を使っているという家庭が増え、窓を開けて換気をするのは少ないという実態からも、学校と家庭との生活に大きな違いがあることが議論されました。伝染病が流行するこの時期に、養護教諭や薬剤師と連携して授業の45分間で増える二酸化炭素濃度を測定したり、3年生が学習したことを朝会や集会等で全校生に広げたりしてはどうかという意見も出され、充実した研究協議になりました。

